

令和元年度 「生徒自身による『私たちのネット利用ルール』づくり」 活動推進実践報告書

1 学校の概要

- (1) 学校名 埼玉県立蓮田松韻高等学校
- (2) 学級数 18学級（5月1日付け）
- (3) 生徒数 592名（同上）
- (4) 教職員数 71名（同上）

2 「私たちのネット利用ルール」づくりについて

(1) 取組内容（決定までのプロセス）

- ・ 8月 生徒会が中心となって、他校とネット問題について考えるディベートに参加
- ・ 10月 生徒会内で他校の見解と自分たちが作ったものを共有した。
- ・ 11月 共有したものを全校生徒にアンケート調査をした。
- ・ 12月 体育館にて全校に向けてステージ発表をした。

(2) 全校への周知の方法

- ・ 紙面や掲示一覧に展示を行い、周知を促した。

(3) 私たちのネット利用ルール

① 「ネットでの悪口」

（予防策）

誹謗・中傷するコメントは友人関係でも発信しない

（対策）

相手の真意（伝えてきたこと）は直接会って聞く

② 「ネットで知り合った人の付き合い方」

（予防策）

SNSで住所、名前、制服などすぐに身元の分かるものを写真掲載しない

（対策）

誘われたら「通報」や「ブロック」を活用して自分の身を守る

③ 「スマホ依存」

（予防策）

会話中には絶対にスマホを見ない。

（対策）

トイレに持ち込まない。（習慣の場所も）

3 活動推進校独自の取組（広報活動）について

（1）活動内容

紙面で内容を確認し、認知を促した。

（2）実施期間

1月～2月末（3学期期間）

（3）その他

プロジェクトメンバーの感想として、「知っていた」「わかっていること」が多かったが、行動するとなるとできていない自分がいることに気がついたなどとのこと。プロジェクトを進めていくにつれて、まずは、自分から取り組んでいこうと思った生徒が多かった。

4 活動の成果と課題

（1）成果：生徒会内で実施したことより、「自分たち自身」がルールをつくったことで模範となる意識が高まったと感じる。また、予防と対策をつくったことで、トラブルを未然に防ぎ、また遭遇したとしても対処のきっかけができたと思う。

（2）課題：全校生徒に周知徹底が不足していると感じる。アンケートを実施して、自分の意見が通らなかった生徒もいるために、むずかしさを感じる。

